

(様式第1号)

令和6年度 木の香る淡海の家推進事業助成金（木質化改修）交付申請書

令和 年 月 日

県産木材活用推進協議会長 様

申請者（工務店等）

郵便番号

住 所

氏 名

印

電話番号

FAX 番号

木の香る淡海の家推進事業助成金（木質化改修）の交付を受けたいので、申請書を提出します。

1. 木質化改修面積	㎡	
2. 助成金の申請額	金	円
3. 既存住宅等の場所 (住所)		
4. 工事期間(予定)	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
5. 施 主	住 所	
	氏 名	
6. びわ湖材納材 協力者等	県産材取扱業者名 (びわ湖材産地証明制度 認定事業者)	地域 () びわ湖材産地証明制度認定番号 ()
7. 完了予定年月日	令和 年 月 日	
8. 添 付 書 類	①内外装仕上材および耐震改修の箇所を明記した図面(平面図、正面図、立面図等)ならびに、内外装仕上材および耐震改修の面積の算出図面・面積算出表。 びわ湖材使用部分は必ず部材ごとに色分けして着色すること。 ②請負契約書の写し ③助成にかかる建築主の確認書(様式第2号) ④びわ湖材調達内訳書(様式第3号) ⑤建築現場位置図(様式第4号) ⑥事業計画書(様式第5号)	
9. 備 考	担当者(氏名)	
	連絡先(携帯)	

(様式第2号)

令和 年 月 日

県産木材活用推進協議会長 様

申請者(工務店等)

郵便番号

住 所

氏 名

印

電話番号

施 主

郵便番号

住 所

氏 名

印

電話番号

令和6年度 木の香る淡海の家推進事業の助成にかかる確認書

下記の内容のとおり、木の香る淡海の家推進事業の助成金を利用するための必要な手続きについて、申請者・施主として実施することに同意します。

なお、以下の条件に異議のないことを確認します。

1. 利用するびわ湖材の規格・数量

①規格：内外装仕上材および耐震改修用の製材品は、県内で木材業・製材業を営む県産材取扱業者(びわ湖材産地証明制度認定事業体)による「びわ湖材」またはびわ湖材製品認定事業体による「びわ湖材製品」を利用していること。

②数量：木質化改修(内外装木質化および耐震改修)面積 _____ m²

2. 助成額

区 分	木質化改修面積	助 成 額 (3千円/m ² 、上限20万円、 千円未満切捨て)
木質化改修	m ²	円

3. 助成金交付先

申請者(工務店等)

名 称 _____

代表者 _____

《次ページに続く》

4. 既存住宅の内装木質化に関する条件

チェック欄

①木質化改修の助成対象となる既存住宅は、一戸建て住宅、共同住宅、店舗または事務所等であること。

②助成対象となる木質化改修は、該当する場合、バリアフリーに配慮したものであること。

③内外装仕上材および耐震改修用の製材品は、県内で木材業等を営む県産材取扱業者（びわ湖材取扱認定事業者）またはびわ湖材製品認定事業者で製材されたものを使用すること。

④建築現場にのぼり旗等で「びわ湖材」の使用の表示PRを行い、建築現場を見学会など展示PRの場として提供できること。

⑤建築基準法等のその他の関係法令に適合していること。

5. その他

①申請者（工務店等）は、申請内容に変更が生じた場合、速やかに協議会に変更申請し、承認を得るものとする。

②申請（工務店等）者は、施主に申請者の助成金の申請に関する書類等の提出に関する承諾を得るものとする。

③以下の事項に該当する場合には、申請者（工務店等）は提供された助成額の相当額をすみやかに協議会に返還するものとする。

- 申請内容と現場状況に相違があり、改善の見込みがないと協議会が判断した場合。
- 提供された助成金を使用した住宅等を、建築後7年を経過することなく解体等を行った場合。（ただし、天変地異等、不可抗力による場合を除く。）
- その他、申込条件に合致しないことがわかった場合。

(様式第3-1号)

びわ湖材調達内訳書(調達計画書)

(内外装仕上材の場合)

部材名	樹種	寸法			1枚当たり 面積 (m ²)	枚数	面積 (m ²)	びわ湖材・びわ湖材製品製造業者名
		幅(mm)	厚(mm)	長(m)				
合 計							m ²	

※書ききれない場合は、2枚にするか、別紙で作成しても結構です。

納材木材業者が製材(加工)業者でない場合は、下記に製材(加工)された業者名を記入してください。

製材(加工)業者名		びわ湖材取扱認定番号	
-----------	--	------------	--

内外装仕上材(びわ湖材)調達面積(m ²)	内外装仕上材算出面積(m ²)	助成金額(円)

びわ湖材納材業者の確認

上記のびわ湖材は、責任を持って納材するとともに、びわ湖材証明書およびびわ湖材製品証明書を整備します。

令和 年 月 日 納材業者名： 印

(様式第3-2号)

びわ湖材調達内訳書(調達計画書)

(耐震改修の場合)

部材名	樹種	寸法			1本当たり 材積 (m ³)	本数	材積 (m ³)	びわ湖材・びわ湖 材製品製造業者名
		幅(mm)	厚(mm)	長(m)				
合計							m ³	

※書ききれない場合は、2枚にするか、別紙で作成しても結構です。
納材木材業者が製材(加工)業者でない場合は、下記に製材(加工)された業者名を記入してください。

製材(加工)業者名		びわ湖材取扱認定番号	
-----------	--	------------	--

耐震改修面積(m ²)	助成金額(円)

※耐震改修面積は、耐震改修(びわ湖材により補強)を行う壁面等の面積とする。

びわ湖材納材業者の確認

上記のびわ湖材は、責任を持って納材するとともに、びわ湖材証明書およびびわ湖材製品証明書を整備します。

令和 年 月 日 納材業者名： 印

(様式第4号)

建 築 現 場 位 置 図	
建築物所在地 (地番まで)	
申請者住所	
申請者名	

注) 現地調査に使用するため、目印になる建物、道路等も記入してください。

(様式第5号)

事業計画書

1. 既存住宅等の概要

①	場 所	住所：	
②	建 物 概 要	用途：	延床面積： m ²
		構造・階数： 造 階建	工法：
③	完了予定日	令和 年 月 日	
④	施 主	住所：	
		氏名：	
⑤	建築工事施工者 (助成事業者)	住所：	
		名称：	代表者：
		建設業許可番号： () 第 号	

2. びわ湖材の使用内容

木質化改修箇所		
木質化改修面積	m ²	
びわ湖材取扱業者 (びわ湖材産地証明制度認定事業者)	業者名：	認定番号：
	業者名：	認定番号：
	業者名：	認定番号：

3. 助成金額： 金 _____ 円

(3千円/m²、上限20万円、千円未満切捨て)

(様式第7号)

びわ湖材使用状況の確認を受ける前日までに提出してください。

令和 年 月 日

びわ湖材活用住宅等確認申請書

県産木材活用推進協議会長 様

申請者

郵便番号

住所

氏名 印

電話

木の香る淡海の家推進事業助成金による、びわ湖材を活用した木質化改修である確認を受けたいので申請します。

	記入欄	(協議会記入欄)
決定番号		
建築場所		
木質化改修面積	m ²	
着工日	令和 年 月 日	
完了年月日	令和 年 月 日	

*添付資料 ・びわ湖材調達内訳書(様式第3-1または3-2号)

・びわ湖材証明書および、びわ湖材製品証明書

.....

*以下協議会確認用

木の香る淡海の家推進事業助成金による事業であることを確認しました。

令和 年 月 日

県産木材活用推進協議会長

(様式第8号)

令和 年 月 日

令和6年度木の香る淡海の家推進事業（木質化改修）助成金実績報告書

県産木材活用推進協議会長 様

申請者

住 所

氏 名 印

電 話

決定番号

令和6年度 木の香る淡海の家推進事業（木質化改修）助成金の対象となる事業を完了したので、報告します。

添付書類：事業実績書（様式第10号）

確認書類（びわ湖材証明書、びわ湖材製品証明書、納品伝票等の支払関係書類）等

(様式第9号)

事業実績書

1. 既存住宅等の概要

①	場 所	住所：	
②	建 物 概 要	用途：	延床面積： m ²
		構造・階数： 造 階建	工法：
④	完了年月日	令和 年 月 日	
⑤	施 主	住所：	
		氏名：	
⑥	建築工事施工者 (助成事業者)	住所：	
		名称：	代表者：
		建設業許可番号： () 第 号	

2. びわ湖材の使用内容

木質化改修箇所		
木質化改修面積	m ² (10m ² 以上)	
びわ湖材取扱業者 (びわ湖材取扱認定事業体、びわ湖材製品加工認定事業体)	業者名：	認定番号：
	業者名：	認定番号：
	業者名：	認定番号：

3. 助成金額： 金 _____ 円

(3千円/m²、上限20万円、千円未満切捨て)

(様式第11号)

令和 年 月 日

令和6年度木の香る淡海の家推進事業（木質化改修）助成金交付請求書

県産木材活用推進協議会長 様

申請者

住 所

氏 名

印

電 話

金 _____ 円

令和 年 月 日付け（決定番号 _____）で助成金の確定通知のあった標記助成金を下記に交付されたいので、請求します。

助成金の振込先

金融機関名		口座種別
支店名		普通・当座
(フリガナ) 口座名義		
口座番号		